




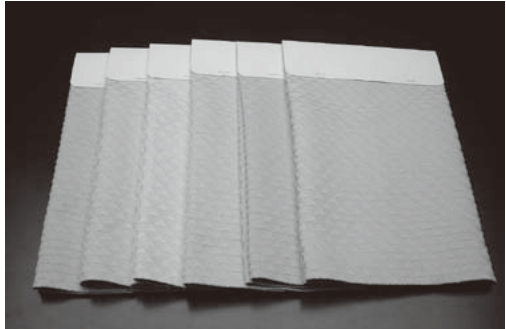
環境に対応した繊維難燃・機能加工の研究

機能性繊維素材の難燃性向上に関する研究

技術分野分類 科研費番号 5402：技術名 高分子・繊維材料

技術キーワード アルファベット：難燃、防汚、機能性、ポリエステル、インテリア

産業分類 分類番号 1144：分類名 織物整理業

内 容	概 要	新規開発した非ハロゲン（ホスファゼン）系難燃剤分散液と機能剤（ポリエステル系防汚剤）分散液を用いて、連続加工法によりポリエステル織物に対し難燃性及び機能性の同時付与を行った。その結果、認定水準以上の難燃性及び機能性（防汚性）が両立可能な処理条件（薬剤の種類、濃度等）を把握し、インテリア製品への応用の可能性を見出した。	
	従来技術・競合技術との比較（優位性）	繊維加工で従来用いられている臭素系難燃剤及びフッ素系撥水剤は、ハロゲン系物質のため環境影響が懸念されている。本加工技術では、使用する難燃剤及び防汚剤がいずれも非ハロゲン系薬剤であり、従来より環境負荷が少ない点で優位性は高い。また、難燃性と機能性を同時付与する加工技術は、難燃加工と機能加工を別工程で行う従来法に比べて生産性に優れている。	
	本技術の有用性	本加工技術は、難燃・防汚性が要求されるインテリア製品（例：カーテン等）に応用可能であり、有用性は高い。	
関連情報 （図・表・写真等）			
		ホスファゼン系難燃剤分散液	難燃・防汚加工したポリエステル織物
適用可能製品		インテリア繊維製品（カーテン、スクリーン、暖簾、タペストリー等）	
技術 シース 保有者	氏名 所属・役職	繊維生活部 研究主幹 守田 啓輔	
技術 シース 照会先	窓口 TEL/FAX e-mail	Tel:076-267-8083 Fax : 076-267-8090 e-mail : ksk@irii.jp	

■知的財産

■試作品状況

無



提供可

作成日 2014 年 10 月 16 日